



## 1. 豊田市樹木自治区見学会

豊田PCB廃棄物処理施設が立地する樹木自治区の方々に、2月23日(日)に施設をご見学いただきました。

今回は特に当施設に隣接する住民の皆様を対象に、多くの方々に参加いただきやすい日曜日にお越しいただきました。



見学会では、所内の見学コースからPCB廃棄物処理施設をご覧いただいたほか、PCBから作業を守るための防護服やエアヘルメットの試着、グローブボックスの模擬操作等の体験もしていただきました。

今後もさらに多くの地域の皆様にご参加いただけるような見学会を計画してまいります。

## 2. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況についてのご報告

26年2月の処理台数

種 別		処理台数
コンデンサ類		725 台
トランス類	大 型	4 台
	小 型	23 台
	車 載 型	6 台
廃PCB等		34 本
保管容器		8 個

平成26年2月の処理実績は左表のとおりです。引き続き、安全かつ確実な処理を継続してまいります。

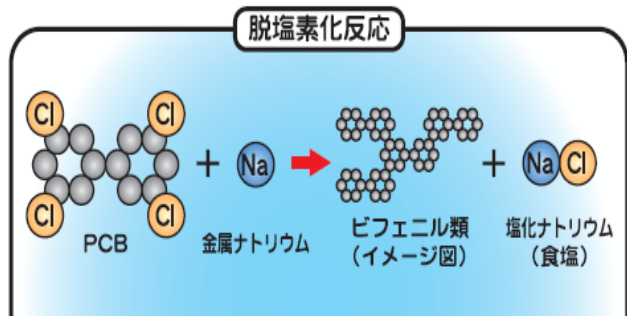
## PCB処理事業紹介シリーズ 第3回

今月はPCB(ポリ塩化ビフェニル)の無害化処理方法をご紹介します。  
豊田処理施設の無害化処理の技術には脱塩素化分解法の一つである金属ナトリウム分散油脱塩素化法(OSD法)を採用しています。

### ◆脱塩素化分解とは

化学反応によりPCB中の塩素(Cl)を水素(H)等に置き換えてビフェニルなどPCB以外の物質にする方法です。

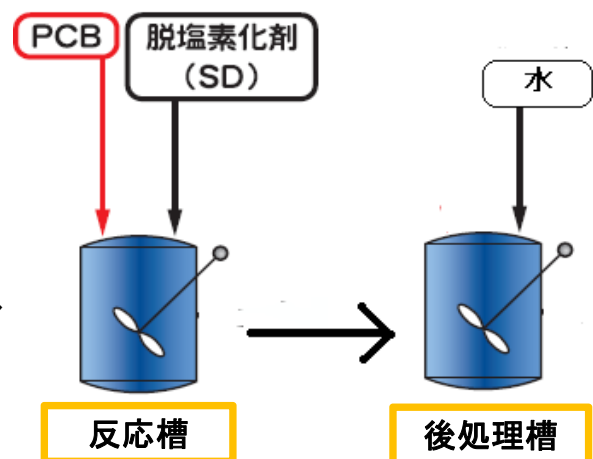
豊田処理施設では、PCBをNa(金属ナトリウム)と化学反応させて、ビフェニル類とNaCl(塩化ナトリウム:食塩)に分解し、無害化処理をしています。



ビフェニル:有機化合物の一種で、ベンゼンが2つ単結合でつながった構造を持つ化学物質  
ビフェニル類:ビフェニルがいくつも連結したもの

### ◆PCBの処理手順

- ① SD剤と絶縁油を反応槽に入れます。
- ② 反応槽の中に濃度調整したPCB溶液をゆっくりと注入します。
- ③ 反応温度155℃で攪拌するとPCBとSD剤が化学反応を起こし、ビフェニル類とNaClに分解されます。
- ④ 脱塩素化処理が完了した後は、Naが残るため、後処理槽で水を添加することにより安定化させます。



SD剤: 鉱物油にNa微粒子を分散させた薬剤  
(Naはそのままでは発火の危険があるため、鉱物油中に混ぜて安定させています)

※各槽に斜めに設置されたプロペラはSD剤をかき混ぜるための攪拌(かくはん)機です。

豊田処理施設では、一日最大1.6トンの純PCBの無害化処理を行なうことができます。  
当施設では、操業からこれまで(平成25年10月末現在)1,245トンの純PCBを安全に無害化処理してまいりました。

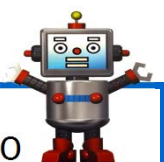


アザラシのピーちゃん

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸